

## 甲府警察署協議会 令和6年度第1回定例会議 議事概要

開催日	令和6年5月17日（金）
開催場所	甲府警察署大会議室
出席者	協議会 会長及び委員 8名 警察署 署長、副署長、課長等 14名
議事概要等	<p>1 令和6年1月から3月までの業務推進状況</p> <p>(1) 会計課関係</p> <p>ア 遺失物・拾得物の取扱状況</p> <p>イ 主な支出経費</p> <p>(2) 警務課関係</p> <p>ア 男性の育児休業取得体験談を発表</p> <p>イ 犯罪被害者支援に関する広報啓発活動として「命の大切さを学ぶ授業」を開催</p> <p>ウ 警察官採用試験募集活動の推進</p> <p>エ 広聴事案の処理状況</p> <p>オ 警察安全相談の受理状況</p> <p>(3) 留置管理課関係</p> <p>ア 収容状況等</p> <p>イ 留置場内の設備点検等の推進</p> <p>ウ 留置施設の修繕等の実施</p> <p>エ 実践的教養・訓練の推進</p> <p>(4) 生活安全課関係</p> <p>ア 人身安全関連事案の認知、検挙状況</p> <p>イ 声掛け事案等の認知、検挙・指導警告状況</p> <p>ウ 主な事件検挙</p> <p>エ 主な犯罪抑止対策</p> <p>(5) 地域課関係</p> <p>ア 雑踏警備実施</p> <p>イ 山岳遭難発生状況・同対策の推進</p> <p>ウ 諸施策の推進</p> <p>(6) 刑事第一課関係</p> <p>ア 犯罪情勢 刑法犯認知検挙件数</p> <p>イ 主要事件検挙状況</p> <p>ウ 検視取扱状況</p> <p>(7) 刑事第二課関係</p> <p>ア 知能犯罪の発生状況</p> <p>イ 告訴・告発対応</p> <p>ウ 主な事件検挙</p> <p>エ その他の取組み</p> <p>(8) 組織犯罪対策課関係</p> <p>ア 電話詐欺被害の発生状況</p> <p>イ 事件検挙等</p> <p>ウ 暴力団対策</p> <p>(9) 交通課関係</p> <p>ア 交通事故発生状況</p> <p>イ 主な事件検挙</p> <p>ウ 交通安全対策の実施状況</p>

(10) 警備課関係

- ア 緊急事態対処合同訓練の実施
- イ 「令和6年能登半島地震」に伴う特別派遣
- ウ 各種対策の実施
- エ 警護等の実施

2 意見・要望等

- (1) 甲府で殺人事件があったが、今回の被害女性に限らず相談が警察にあった場合、担当との連携は取れているのか。

【回答】

相談があれば内容に応じて直ぐに担当部門に引継ぎ対応している。

また、最初から事件として判断されれば、そのまま事件担当課が捜査等する事となる。

- (2) 男性の育児休業取得者が感想を署員に発表しており、良いこと。

そのような感想は、就職活動検討先の福利厚生として知りたい情報だと思うので、採用説明会やパンフレットに盛り込むのも良いと思う。

【回答】

県警本部警務課採用担当と情報共有する。

- (3) 飲酒運転が減らない。

飲酒運転させないための方策を検討して貰いたい。

【回答】

これまで飲酒運転は夜中が多かったが、最近は朝の通勤時間帯の検挙もある。よって時間を限定することなく、検問を実施する等の方策を推進していく。

- (4) 飲酒運転が減らない要因の一つは、タクシー会社の人員不足、代行運転業者の数が追いつかないという状況があるのではないか。

【回答】

代行業の新規届出は今もある。

飲酒運転で検挙された者から聞き取った飲酒運転した理由には「捕まらないだろう」という安易な考えによるものが多い。

飲食店にも協力してもらい、ハンドルキーパー運動の推進等していきたい。

また、コインパーキングの管理者対策等も行っていきたい。

- (5) 山の手通りは交通事故防止対策の重点路線に指定されているが、事故発生状況と原因の分析・検証は行われているか。

【回答】

山の手通りは、「速度超過車両が多い」「横断歩道が少ない」等が事故原因となっている可能性がある。引き続き分析・検証を行っていきたい。

- (6) 契約や取引に関する相談も警察で受けているが、通常、各企業の場合、顧問弁護士が対応するものではないのか。

【回答】

警察に来るのは個人間の契約や取引でトラブルになった場合の相談が多く、内容に応じ、消費生活センターや弁護士等に相談するよう教示することもある。

- (7) 毎日たくさんの子供達と接していると、児童虐待を疑う場合があり、県や市の児童福祉担当と情報共有している。

警察もそれら児童福祉担当と連携しているか。

【回答】

県や市、その他関係団体と相互に連絡しており、お互いに情報共有を行っている。

- (8) 自転車盗難対策で甲府駅駐輪場に広報を流すスピーカーを設置したとの説明があった。以前は無施錠の自転車にチェーンロックを掛ける活動をしていたが今も継続しているのか。

【回答】

チェーンロックを掛ける活動は、現在甲府署では実施していないが、施錠を促す以外にも盗難防止に有用な方法を模索している。

- (9) ふれあい連絡会とはどのような活動をしているのか。

【回答】

ふれあい連絡会とは、各交番・駐在所単位で組織された自主防犯ボランティア等を行っている協力団体である。

- (10) 暴力団対策で行っている「みかじめ料縁切り同盟」は今も活動しているのか。

【回答】

コロナが蔓延していた時期は活動を自粛していたが、5類に移行後は通常の活動に戻っている。

生活安全課にある深夜営業等の許認可窓口を通じ、縁切り同盟の標章の受付も行っている。

- (11) 能登半島へ特別派遣される隊員は希望制か、指名制か。また、派遣された後、長期休暇等の特典はあるのか。

【回答】

発災直後は、広域緊急援助隊員として指定されている者から選ばれ派遣されるが、その後の出動では自ら志願して派遣された者もいる。

派遣中は休みが無いので、戻ってきた際、その分の代休で休ませる他、希望により年次有給休暇を合わせて取得し、数日休んでもらい、労っている。

### 3 甲府警察署速度取締り指針の諮問

- (1) 国道411号で速度超過が原因と考えられる交通事故の発生時間は午前4時であるが、計画された取締り時間は午前8時から午後4時となっており、事故発生時間が含まれていない。その理由は何か。

【回答】

悲惨な事故に直結する速度超過の取締りは最重要課題である。取締り計画の時間帯に人身事故は発生していないものの、甲府市中心街へ抜ける大通りの二車線道路でありスピードを出しやすい場所である。交通事故を防ぐためには速度超過をさせないことが大切であるため、そのような時間設定にしている。

- (2) その他意見等はなく、承認された。